

# 大分市歴史資料館

OITA CITY HISTORICAL MUSEUM

## ニュース

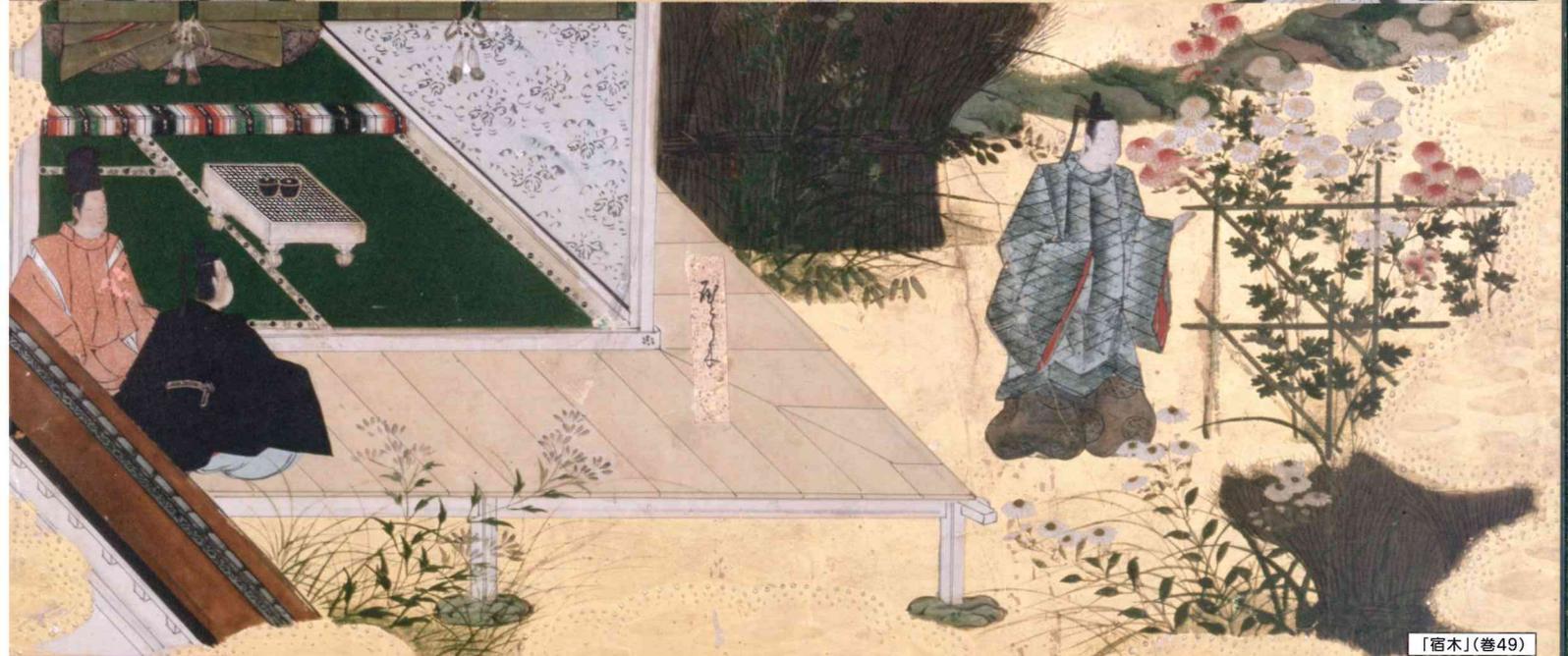
vol.

118

2018.4.28



「末摘花」(巻6)



「宿木」(巻49)

平成30年度テーマ展示Ⅰ

会期

4月28日(土)～

6月17日(日)

# 王朝文化へのいざない

# 源氏物語絵

# ~王朝文化へのいざない~ 源氏物語絵

会期：4月28日(土)～6月17日(日)

げんじものがたり きだい きこうし  
『源氏物語』は稀代の貴公子「光源氏」を主人公とする長編小説で、  
むらさきしきぶ  
紫式部が平安時代に書いた、わが国古典文学の最高傑作です。

本展では、『源氏物語』を見事に描写した「源氏物語絵」をはじめ、貝合や百人一首、大友義統が  
『源氏物語』の一節を色紙に書き写した「十二月言葉手鑑」など、当館が所蔵する資料を中心に紹介します。  
今もなお多くの人を魅了してやまない、『源氏物語』の描く王朝文化の世界へ、皆さまをいざないます。

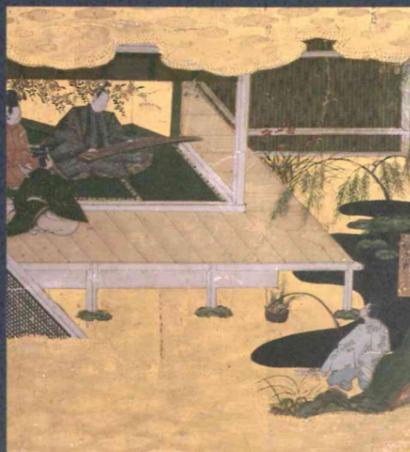
## I. 源氏物語絵をみる

『源氏物語』全五十四帖から一帖一場面を描いた「五十  
四帖屏風」の一部で、宇佐八幡宮の社家に伝わったものと  
言われています。面長に引目鉤鼻の人物像や丸みのある岩  
や緩やかな線を基調とした樹木の表現などから、狩野永徳  
の長男で近年注目される光信(1561/65～1608)の工房  
で桃山時代末頃に描かれた作品と考えられています。

本絵は「五十四帖屏風」の初期の作品として大変貴重  
で、雅やかな物語に調和する狩野派の彩色画を堪能してい  
ただけるとと思います。



「竹河」(巻44)



「篝火」(巻27)

## II. 貴族のあそび

「源氏物語絵」には、秋の夕日に扇をかざす夕霧や馬に  
乗り明石の君のもとへ向かう源氏のように、物語を印象付  
けるさまざま場面が登場します。そのなかで、船に乗り管弦  
を楽しみ、庭の桜の花を賭けて碁を打つ様子など、平安貴族  
の優雅なあそびの数々も描写されています。

第二章では、貝合の道具を展示し、二枚貝に描かれた  
物語絵などから貴族のあそびを紹介します。



貝合の道具(貝桶・貝合)



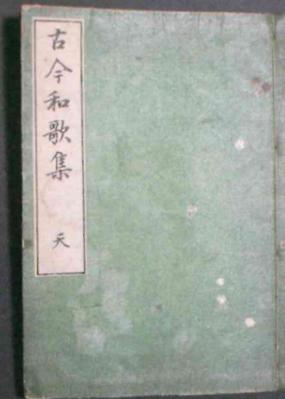
貝合に描かれた花鳥図など

## III. 貴族の教養

『源氏物語』では数多くの和歌が詠まれています。それは  
登場人物の心情や物語の情景を色鮮やかに演出しており、  
『源氏物語』の人気を揺るぎないものにしたと言っても  
過言ではありません。

和歌は、平安時代のはじめに誕生した王朝文学の一つ  
で、繊細で機微に富んだ日本語の詩を「かな文字」で表現  
した日本固有の文学です。

第三章では、日本最古  
の勅撰和歌集である  
『古今和歌集』や百人一首  
などから、平安時代に開  
花した国風文学の一端  
をご覧ください。



『古今和歌集』

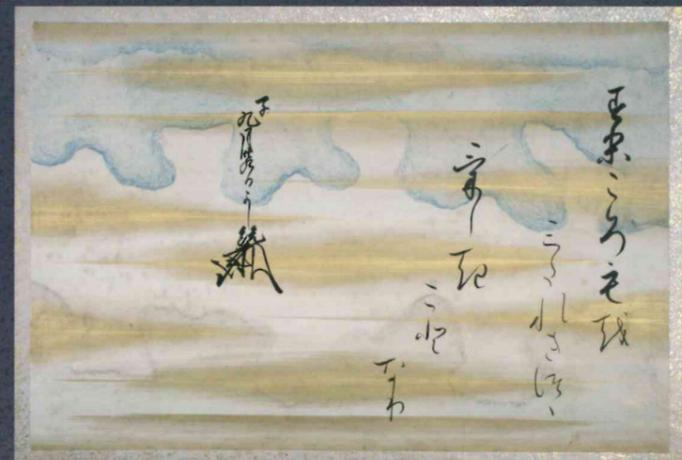
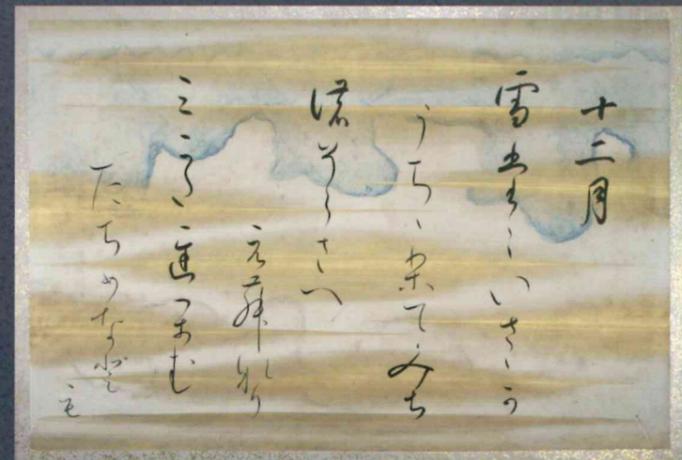
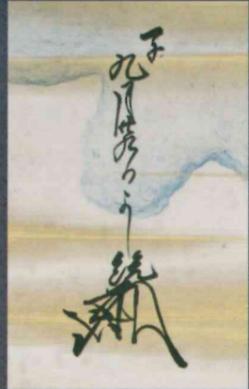


百人一首

## IV. 武士の教養

桃山時代の武将たちは、文化的  
権威を求め、公家文化への憧憬  
を強めていきました。そのなかで  
彼らは、茶の湯や和歌・連歌に興じ、  
古典文学を学びました。

「十二月言葉手鑑」は、大友家 22  
代当主の義統が『源氏物語』から  
各月にちなんだ一節を選び、金泥な  
どで彩られた綺麗な料紙に天正 16 年 (1588) の 9 月 29 日  
に書き写したものです。この年に行われた京都の聚楽第での  
和歌会では一首歌を詠んでおり、本資料は大友義統の和歌や  
古典文学、書に対する造詣の深さを示す大変貴重なものです。



「十二月言葉手鑑」

イエズス会士日本書簡集 (ドイツ語版)

ドイツのアウグスブルクで刊行された全3巻からなるイエズス会日本書簡集のドイツ語版です。

第1巻は1795年に刊行され、1548～1564年の書簡(39通)が収められています。扉絵に、豊後王大友宗麟の前で聖フランシスコ・ザビエルと仏僧(Fucarandono フカランドノ?)が宗論する様子が描かれています。第2巻は1796年に刊行され、1565～1580年の書簡(20通)が収められています。扉絵に、宗麟の洗礼の場面が描かれています。第3巻は1798年に刊行され、1581～1585年の書簡(12通)が収められています。扉絵に、ローマ法王グレゴリオ13世に謁見する天正遣欧使節の様子が描かれています。

本書は、ザビエルの東方における布教の成功を、宗教改革後カトリックが勢力を挽回した象徴として広くアピールする目的で出版されました。豊後王大友宗麟の、西洋における認知度をうかがい知る貴重な資料です。



第3巻扉絵「宗麟洗礼の場面」

テーマ展示Ⅲ「大分の刀剣」を開催しました

かつて刀剣の一大生産地であった大分市高田地区、高田物と呼ばれたその刀は「折れず」「曲がらず」「よく切れる」実用刀として高い評価を得ていました。今回の展示は、日本美術刀剣保存協会大分支部の協力を得て、豊後刀を中心に31振を展示。刀装具や、現在の刀工による刀剣の製作工程を示す資料も紹介しました。会期は、前期と後期に分け、1月27日～4月2日まで開催しました。

展示期間の入場者数は、「刀剣女子」の言葉に代表される近年の刀剣ブームとあいまって、4,500人を数えました。また会期中の2月11日に開催された、真野和夫さんを招いての展解説講座も関心が高く、132名の受講者に会場は満席となり、急ぎよ廊下に席をつくるほどでした。

利用案内

■開館時間 9時から17時(入館は16時30分まで)

■休館日 月曜日 但し祝日の場合は開館

但し第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館日  
祝日の翌日 但し土・日曜の場合は開館  
年末年始 12月28日～1月4日



■観覧料 大人200円(団体150円) 高校生100円(団体50円)

中学生以下 無料 ※団体は20名以上  
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者は無料。  
◎入館時に受付で手帳を提示してください。



■交通機関

・JR久大本線 豊後国分駅下車 徒歩2分

歴史資料館入口下車 徒歩5分

・大分自動車道 大分I.C・光吉I.Cよりともに約15分



ふれあい歴史体験講座

定員 各回50～70名程度(先着順)

時間 午前の部 9時30分～(約2時間)  
午後の部 14時00分～(約2時間)

	実施日	内容	材料費	受付開始日
第1回	4月21日(土)	勾玉作り	250円	4月 4日(水)
第2回	5月19日(土)	土偶作り	180円	5月 3日(木)
第3回	6月 2日(土)	土笛作り	70円	5月17日(木)
第4回	6月16日(土)	粘土はにわ作り	250円	6月 3日(日)
第5回	6月30日(土)	七夕飾り作り	100円	6月17日(日)

応募 上記の受付開始日より、電話にて応募ください。  
(大分市歴史資料館：097-549-0880)

昔のおもちゃで遊ぼう

内容 歴史資料館隣の広い史跡公園で、竹馬・竹とんぼ・竹弓矢・コマなどの昔のおもちゃで、思い切り遊びます。体験当日は、手押し式消防ポンプ体験を家族みんなで力を合わせて行います。

日時 5月5日(土)【こどもの日】  
9時30分～16時(15時受付終了)

参加費 無 料 ※事前の申し込みは必要ありません。

★上記の各講座等の参加者は観覧料が無料になります。



刀 銘「平長盛」



展示解説講座

発行日：平成30年4月28日

発行：大分市歴史資料館 〒870-0864 大分市大字国分960-1 TEL097-549-0880 Fax097-549-5766

※大分市ホームページの「文化・スポーツ・観光＞歴史＞大分市歴史資料館」も併せてご覧下さい。

(<http://www.city.oita.oita.jp/>)